

新年を迎えて

昨年は、年初より全国で災害が発生しました。そして今年もインフルエンザが大流行し、その一因として大気の乾燥が続いていることが挙げられています。これらのことから、自然環境の大きな変化を実感し、今、自分にできることを行動していかなければならないと切に感じます。

学校の教育活動においては、皆様のお陰で活動内容を変更することなく実施することができました。保護者・地域の方々には学校行事等の様々な機会にご来校いただき、子どもたちに温かい声掛け、見守り等行っていただきました。ありがとうございました。

2025年の干支は、「巳(み)」です。「巳」の文字は蛇や胎児の形を表す説があり、そのため「起こる」「始まる」「再生」などの意味をもつとされています。まさに再出発にふさわしい年でしょう。これまで本校では、教職員・子どもが互いに対話する中で、よりよい人間関係を築くことを目指してきました。これからも、子どもたちの良いところを引き出し、伸ばす指導の充実に努めていきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【令和7年度の教育活動に向けて】

学校の教育活動は、計画・実施・評価・改善のプロセスを繰り返し、活動の見直しや新たな取組を構築します。前例踏襲や目的が不明確にならないように留意しています。

また、保護者・地域の皆様にもご協力いただく学校評価は、達成状況や素直なご意見を伺い、改善の視点として活用させていただいております。(学校だよりやホームページにてご報告させていただいており、最終報告は来月行う予定です。)

皆様の学校評価を経て、次年度の学校経営方針や教育課程を編成してまいります。来年度の計画づくりにおいて、以下の2点について強化してまいります。

【強化していきたいこと】


○小規模校における教科担任制・人権尊重教育の推進

本校は、東京都教育委員会の教科担任制(小規模校)の指定を受け、小規模校における教科担任制の在り方を検討していきます。

また、本校では2年間、東京都教育委員会指定の人権尊重教育推進校として研究に取り組んできました。これまでの研究成果のまとめを2月28日、全都に向けて研究発表会を開催します。今後も人権尊重の精神を意識した教育を教職員一丸となって取り組んでいきます。

○学習意欲の向上

子どもたちが、自分で知りたいことなどを調べたり、学校で学んだことについて学びを深めたりする自主学習への取組を継続することで、子どもたち自ら学びをデザインする力の育成を図ります。

開庁時間等のご案内			随時更新中！
開庁時間 月～金：8:00～17:00 定時退勤日：8:00～16:30 土曜授業：8:00～12:00	電話受付時間 月～金：8:00～17:00 定時退勤日：8:00～16:30 土曜授業：8:00～12:00	1月定時退勤予定日 15・22日(水) <small>※予定が変わる場合がありますのでホームページにてご確認ください。</small>	 左のQRコードをスマートフォンなどで読みとっていただきますと、江戸川小学校 HP 携帯サイトにアクセスできます。

席書会について

冬休みには、各ご家庭にて書き初めの宿題実施へのご協力をいただき、ありがとうございました。以下の日程で、席書会を行います。

日程	実施時間	学年	実施場所
1月9日(木) 1月10日(金)	午前	1年 2年	各学級
1月9日(木)	1・2校時	3年	体育館
	3・4校時	4年	
1月10日(金)	3・4校時	6年	
	5・6校時	5年	

当日は、書写道具や新聞紙等、道具が必要となりますので、ご準備をよろしくお願いいたします。席書会にて書いた作品は、1月20日(月)から24日(金)まで校内に展示をします。

今年度は、放課後に児童の作品を鑑賞できます。
鑑賞可能時間は 15:15~16:30 です。
(※受付終了時刻は16:15です。)



今年も開催！「えどラン」

今年度も2月1日(土)に旧江戸川河川敷において、持久走大会「えどラン」を実施します。子どもたちは朝運動や中休みなど、本番に向けて毎日練習に取り組んでいます。

当日は、旧江戸川土手堤防道路よりご参観ください。各学年の開始予定時刻は、以下の通りです。

学年	開始予定時刻	距離
3年男女	9:00	1,500m
4年男女	9:20	
1年男女	9:40	1,000m
2年男女	9:55	
5年男女	10:15	2,000m
6年男女	10:40	



なお、持久走という運動の特性を鑑み、原則マスクを外して実施します。他学年の状況により、開始予定時刻は前後することもありますので、お時間に余裕をもって、お越しください。





1月24日～30日は
全国学校給食週間です

学校給食について知ろう!

学校給食の始まり



日本の学校給食は、1889(明治22)年、山形県鶴岡町(現・鶴岡市)にある大督寺というお寺の中に建てられた私立忠愛小学校で始まったとされています。大督寺のお坊さんが家々を回ってお経を唱え、いただいた米や野菜、お金を使って、貧しい家庭の子どもたちに食事を用意しました。その後、学校給食は、子どもたちの栄養を改善するための方法として国から奨励され、各地へ広まってきましたが、戦争による食料不足の影響で実施できなくなってしまいました。

明治 22 年ごろ	大正 12 年ごろ	昭和 17 年ごろ
おにぎり 塩ザケ 漬物	五色ごはん 栄養みそ汁	すいとんのみそ汁

支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946(昭和21)年に、アメリカのLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。当初は給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、1950(昭和25)年度からは冬季休業と重ならない1月24日～30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



昭和 22 年ごろ	昭和 27 年ごろ
ミルク(脱脂粉乳) トマトシチュー	コッペパン ミルク(脱脂粉乳) 鯨肉の竜田揚げ せん切りキャベツ ジャム

昭和25年に、アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が始まりました。

学校給食は教育活動に



1954(昭和29)年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。それから、時代の移り変わりとともに、子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、学校給食の内容も変わってきました。

昭和 40 年ごろ	昭和 51 年ごろ
ソフトめん ミートソース 牛乳 フライポテト 黄桃	カレーライス 牛乳 塩もみ ゆで卵

昭和30年代後半には脱脂粉乳のミルクが牛乳へと切り替わり、コッペパン以外のパンやソフトめんなど、主食の種類が増えていきました。白米が正式に導入されたのは昭和51年のことです。